

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2001-108883 (P2001-108883A)

【公開日】平成 13 年 4 月 20 日 (2001.4.20)

【出願番号】特願 平 11-290511

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/04 (2006.01)

G 0 3 B 11/04 (2006.01)

G 0 3 B 17/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/04 D

G 0 3 B 11/04 B

G 0 3 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 11 日 (2006.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レンズを保持する筒体を、カム溝と当該カム溝に嵌合するカムフォロアとにより鏡筒ベースに対して光軸方向前後に移動自在とするレンズ鏡筒であって、

当該カム溝が、撮影領域では当該カムフォロアに嵌合する第 1 のサイズを具備し、非撮影領域では、当該カムフォロアに前記撮影領域での嵌合よりもゆるく嵌合する第 2 のサイズを具備することを特徴とするレンズ鏡筒。

【請求項 2】

更に、前記筒体の位置に応じて開閉するレンズバリア機構を具備し、当該レンズバリア機構は、当該撮像状態から当該非撮影状態に移行する場合、当該カムフォロアが当該第 1 のサイズのカム溝に嵌合しているときに閉成動作を開始する請求項 1 に記載のレンズ鏡筒。

【請求項 3】

更に、前記筒体の位置に応じて開閉するレンズバリア機構を具備し、当該レンズバリア機構は、当該撮像状態から当該非撮影状態に移行する場合、当該カムフォロアが当該第 1 のサイズのカム溝に嵌合しているときに閉成動作を開始し、当該カムフォロアが当該第 2 のサイズのカム溝に嵌合しているときに閉成動作を完了する請求項 1 に記載のレンズ鏡筒。

【請求項 4】

更に、前記筒体の位置に応じて開閉するレンズバリア機構を具備し、当該レンズバリア機構は、当該撮像状態から当該非撮影状態に移行する場合、当該カムフォロアが当該第 2 のサイズのカム溝に嵌合しているときに閉成する請求項 1 に記載のレンズ鏡筒。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のレンズ鏡筒を具備することを特徴とする撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るレンズ鏡筒は、レンズを保持する筒体を、カム溝と当該カム溝に嵌合するカムフォロアとにより鏡筒ベースに対して光軸方向前後に移動自在とするレンズ鏡筒であって、当該カム溝が、撮影領域では当該カムフォロアに嵌合する第1のサイズを具備し、非撮影領域では、当該カムフォロアに前記撮影領域での嵌合よりもゆるく嵌合する第2のサイズを具備することを特徴とする。